

# 東京東江戸川ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区

TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB

人類に奉仕するロータリー  
Rotary Serving Humanity



RI会長 ジョン・F・ジャーム

地域社会に奉仕するロータリー  
Rotary Serving Community



クラブ会長 嶋村 文男

◆例会日◆ 毎週火曜日 12:30~13:30  
◆創立◆ 1969年9月18日(日本で951番目)

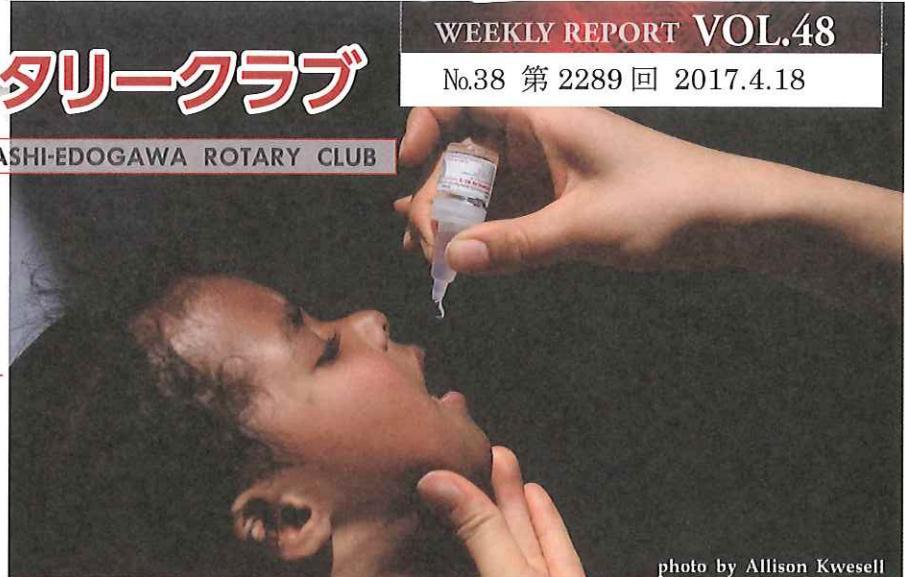


photo by Allison Kwasell

## 本日の卓話

## 「第4回クラブアッセンブリー」

## 次回の卓話

(紹介者 平田君)

## 「私の職業奉仕

## 人生の軌跡 社会的企業を目指して」

東京江北RC 副会長

海老沼 孝二 氏

## 《4月11日例会報告》

点鐘

ロータリーソング「我等の生業」  
「Birthday Song」



来賓紹介

◎ゲスト 4名

松尾広澄氏 (ゲストスピーカー)

本澤淳司氏 (愛國学園 IAC 顧問教師)

草間玲惟菜さん (愛國学園 IAC)

高木爽加さん (〃)

◎ビジター 3名

市川 實氏 (東京江戸川RC)

保土田守彦氏 (〃)

比留間孝司氏 (東京武蔵村山RC) 以上 7名

## 出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
37名	26名	89.66%	96.88%

## 会長報告

○東京田無けやきRCが、2017年3月31日付でRIを脱退しました。当地区的クラブ数は、69クラブ（東京58クラブ、沖縄11クラブ）となりました。

○元東分区代理・東京葛飾RC 星野伊三郎様が、4月6日逝去されました（享年87歳）謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 幹事報告

○本日 PM1:40~タワーホール船堀2階「松の間」にて、第7回クラブ研修会開催。

○4月17日(月) AM11:30~ハイアットリージェンシー東京にて、次年度地区ロータリー財団委員会打合せ昼食会開催。茂手木次年度地区補助

会長 ◆ 嶋村 文男  
副会長 ◆ 城戸 国雄  
幹事 ◆ 鹿倉 勇

会報・雑誌委員会 ◆ 石橋正男・多田晃弘・一柳靖人・池田真司  
事務局 ◆ 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室  
TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774  
E-mail:e-edogawa@msc.biglobe.ne.jp http://e-edogawa-rc.com

金委員、嶋村次年度地区ポリオプラス委員出席。  
○4月17日(月)PM12:30～ハイアットリージェンシー東京にて、次年度地区米山奨学委員会開催。一樹次年度地区米山奨学副委員長出席。  
○4月17日(月)PM1:30～ハイアットリージェンシー東京にて、2016-17年度R I 第2580地区 地区研修協議会開催。当クラブからは、城戸次年度会長、永井次年度副幹事、岡村次年度クラブ奉仕委員長、鈴木(富)次年度職業奉仕委員長、小内次年度社会奉仕委員長、橋本次年度国際奉仕委員、唐澤次年度青少年奉仕委員長、田中次年度ロータリー財団委員長、阿部次年度米山奨学委員長、石橋次年度研修委員長、一樹次年度地区米山奨学副委員長、茂手木次年度地区補助金委員、嶋村次年度ポリオプラス委員の13名が出席します。

———— 例会臨時変更のお知らせ ———

- 4月26日(水)  
・東京葛飾東RC、東京臨海RC  
→ 休日振替休会(4/29 昭和の日)
- 4月27日(木)  
・東京向島RC → 夜間例会(国際奉仕フォーラム)
- 4月28日(金)  
・東京板橋セントラルRC → 特別休会

**委 員 会 報 告**

<親睦活動委員会(ゴルフ)>

- ・第3回嶋村会長杯&東京江戸川中央RCとの親睦コンペについて。C

<研修委員会>

- ・本日の研修委員会は、米山奨学事業について、東京武蔵村山RCの比留間孝司さんに講師をお願いしました。時間のある方はぜひ参加して下さい。

<インタークト委員会>

- ・インタークト例会の件。

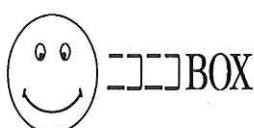


<ローターアクト委員会>

- ・地区ローターアクト年次大会開催のご連絡。

**《卓 話》**

4月11日の卓話は、江戸川区子ども家庭部長、松尾広澄氏の「全ての子どもの健やかな成長を願って～児童虐待と子どもの貧困」でした。



本日入金…¥ 66,000  
今期累計…¥ 842,500  
基金合計…¥ 10,923,257

ゲストスピーカー・松尾様より卓話謝礼をニコニコに頂戴いたしました  
保土田氏(東京江戸川)…お世話になります。  
比留間氏(東京武蔵村山)  
…いつも大変お世話になっております。今日はよろしくお願い致します。

**ニ コ ニ コ 情 報**

- ①本日の卓話、江戸川区子ども家庭部長、松尾広澄氏の『全ての子どもの健やかな成長を願って～児童虐待と子どもの貧困～』に期待致します。  
②例会後、第7回クラブ研修会です。今回も大いに学び合いましょう

村山君、鈴木(義)君、阿部君、森本君、平田君、岡村君、田中君、城戸君、永井君…①②  
石橋君…東京武蔵村山RCの比留間さんようこそ。

研修会よろしくお願い致します。  
須賀君…松尾部長、今日はよろしくお願ひします。  
楽しみです。

猪野君…地区職業奉仕研修会に出席されました嶋村会長、石橋さん、鈴木(富)さん、岡村さん、お疲れ様でした。

嶋村君…雨の中での交通安全を願う風船配りご参加のメンバーの方々、有難うございました。江戸川区子ども家庭部長・松尾広澄さん、本日の卓話宜しくお願ひします。  
一樹君…比留間さん本日はよろしくお願ひします。

皆様誕生日祝いありがとうございます。

計 17 名

### 「会長の時間」のポイント

4月 11 日 テーマ

「入りて学び出でて奉仕せよ」

(Enter to Learn, Go Forth to Serve)

- 国際ロータリーでこの言葉を使ったのは、1947-48年のR I 会長 ケンドリック・ガーンジーです。
- ロータリークラブは毎週 1 回定期的に例会を開き、会員はその出席規定により、例会に出席すべきと定められています。
- 例会ではロータリーのサービスの理念を真摯に学び、仲間と共に自己研鑽をつむ場所です。それは例会で奉仕の心を学び、そして地域社会に出て奉仕する事を大切にするという事です。
- メークアップという出席の補填制度があり、他クラブの例会出席は同じロータリアン同志のふれ合いから自らの成長の糧となります。
- ロータリーの真の姿とは — E S S  
Enjoy — ロータリーを楽しみ  
Study — ロータリーを学び  
Service—奉仕をしよう

### 第 7 回 クラブ研修会

日 時：平成 29 年 4 月 11 日(火) PM1 : 40～

場 所：タワーホール船堀 2 階「松の間」

テーマ：「米山奨学事業について」

講 師：地区米山奨学副委員長・東京武蔵村山 RC  
比留間孝司氏

出席者：阿部、石橋、一樹、猪野、岡村、唐澤、  
城戸、嶋村、鈴木(富)、鈴木(義)、塚田、  
永井、平田

(50 音順・敬称略) 計 13 名



### 第 6 回家庭集会報告

日 時：平成 29 年 3 月 14 日(火) PM 6 : 30～

場 所：緑町「かど家」

ホスト：一樹君

出席者：一樹、城戸、小佐田、鹿倉、嶋村、永井、  
橋本 (50 音順・敬称略) 7 名

3 月 14 日 (火) 午後 6 時 30 分より、両国駅から徒歩 8 分ほどの緑町「かど家」にて、第 8 回家庭集会が開催されました。ホストである一樹国際奉仕委員長から、会場のお店が江戸末期から創業された鳥料理店で、作家の池波正太郎氏もよく訪れて「鬼平犯科帳」に頻繁に登場する軍鶏鍋屋「五鉄」のモデルとなっていることの紹介がありました。鬼平は、五鉄で密偵たちとのつなぎや会合の場所に使っているので、それほど池波正太郎氏のお気に入りのお店だったのだと思われます。

嶋村会長の挨拶のあと、小佐田パスト会長の乾杯の音頭で宴が始まりました。最初に出された鳥スープがとても美味しく、次々に女将さんから料理が出されて、美味しい酒を飲みながらお食事を堪能いたしました。とくに名物の鶏鍋は、八丁味噌と鶏スープの 2 種類をいただくことができました。八丁味噌仕立ての鍋は見た目はこってりなのですが、具をすき焼きのように卵につけて食べるのですが意外とあっさりしていて、またお店に行きたくなるほどの美味しさでした。

そして、宴が進んだところで、現状がロータリーの過渡期ではないかという談義が始まりました。各自ロータリーの思いを語りあっていき、その中で、小佐田パスト会長から、ロータリーは人格形成の場であること、ロータリーはトレーニングの場であるとの話が特に印象に残りました。また、嶋村会長から、ロータリーは親睦も含めて出席よりも参加することであることを感じているお話をいただき、とても参考になりました。

そして、尽きることなく会話がはずみ、あつという間に 2 時間が過ぎて、楽しい時間を過ごすことができました。最後に城戸副会長の挨拶があり、全員満面の笑みで記念撮影を撮りました。

今日の家庭集会は、創業 150 年をこえる老舗の美味しさに負けないくらい、楽しい時間を味わうことができました。ホストの一樹国際奉仕委員長はじめ、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

(記：永 井 正 己)



## 入退会者歓送迎会報告

日 時：平成 29 年 4 月 4 日（火）PM6:30～

場 所：割烹「いこい」

参加者：27 名

（退会者）田村直氏、本多達磨氏（退会日順）

（入会者）安池勇人君、橋本豊之君（入会日順）

浅井、阿部、石橋、一樹、猪野、岩倉、岡村、荻原、  
唐澤、城戸、小内、小佐田、鹿倉、鹿野、鳴村、  
鈴木（富）、塚田、寺田、永井、中川、村山、

茂手木、森本 （50 音順・敬称略）

桜も咲き始めた夕暮れ、沢山の思い出や祝いの気持ちを持ち寄った沢山のメンバーが、おなじみの料亭に集いました。

今日は我がクラブを支えてきた先輩方をはじめとする退会の皆様と、新たに迎えられた入会の皆様をえた歓送迎会です。総勢 27 名のメンバーが出席されるというとても賑やかな宴が始まりました。

鳴村会長の挨拶では、本多さんの 36 年間のロータリアンとして在籍してくださった感謝の気持ちと、新たに入会された安池さん、橋本さんへは、ロータリーを学び活動への期待を語られました。

続いて会長会の中川パスト会長より、本多さんのお父様からのお話いや、傳谷さんとの懐かしい思い出などをお話し下さいました。

その後入会者の安池さん、橋本さんから挨拶があり、入会の決意の言葉が語られました。

最後に長年我がクラブに貢献されてきた本多さんより感謝のお言葉を頂きました。

いよいよ楽しい宴の時間となりました。乾杯のご挨拶は、石橋パスト会長より本多さんへの感謝の言葉と、新たに入会される安池さん、橋本さんへ、早くクラブに馴染んで、若い世代としてクラブを背負っていくメンバーとなって欲しいというお話しをさ

れ、石橋パスト会長のご発声で皆、たからかに杯を上げて宴がはじまりました。本多さんは皆と懐かしそうに思い出話に華を咲かせていたご様子でした。安池さんと橋本さんは、上座を早々に降りてしまい、多くのメンバーと親睦を深めていたようでした。間に合った田村さんも、挨拶のあと、皆と楽しそうに語り合っておりました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ去る物で、城戸副会長の中締めの挨拶の時間となり、江戸川の夜に響き渡る元気な三本締めで宴が閉じられました。

我がクラブの歴史を築いてきた方々と、これから新たな時代を作る方々が交差する歓送迎会ですが、私自身も新たなバトンを受け取った気持ちとなりました。

（記：一樹靖人）

## 《さまざまな寄付の力タチ

### — 学友からの遺言寄付 —

遺言によって、指定した個人や団体へ指定した資産を残すことを「遺贈」といいます。当会では2000 年度から、遺贈によるご寄付に対応するため「遺言寄付制度」を設けて、事業へご賛同いただける方のご意志を募っています。

大阪在住の米山学友で、元関西米山学友会会长の林小微さん（台湾／1983-84／和歌山東 R C）は、2009 年1 月、学友として初めて遺言寄付を申請してくださいました。そして、今年3 月に事務局を再訪し、2 回目の遺言寄付を申請されました。

最初の申請の際は、寄付の事例として紹介することを固辞された林さんですが、今回は、「学友にもこのような制度があることを知ってほしい」との思いから、紹介することを了承してくださいました。

### 【林さんからのメッセージ】

奨学会からの資料を見て「遺言寄付」という制度があることを知りました。2008 年に学友会の用事で米山事務局を訪問したついでに、学友はできないのか聞いてみたところ、「できるが、まだ例はない」とのことでしたので、

「では、その第一号になりましょう」と申し出ました。主人の了解も得られたので、遺言寄付の申込書を提出し、今回は二度目の申込みをしました。これで頂いた奨学金に対して、ご恩の「倍返し」ができました。これから「10 倍返し」できるよう、長生きしながら頑張りたいと思います。

（ハイライトよねやま205より抜粋）